

もっと学びたい人へ (7)

❖ ❖

第7課までに、名詞クラスのクラス3からクラス8までのシルシを見てきましたね。

(クラス3 / クラス4)	m- / mi-
(クラス5 / クラス6)	ji- / ma-
(クラス7 / クラス8)	ki- / vi-
	(ch- / vy-)

この内、名詞クラス3/4とクラス5/6のシルシは指大詞のシルシ、クラス7/8のシルシは指小詞のシルシになります。以下で見てください。

❖ .. ❖

また、シルシ‘ki-’で、「～風に、～流に」という意味の副詞を作ることができます。これについても一緒に見ておきましょう。

❖ ❖

◆ 指大詞(名詞クラス3/4・5/6)

名詞クラス3/4とクラス5/6のシルシは、「大きい」や、「異様な」といった指大詞の意味を表わすこともあります。

((例1)) **kisu** / **visu** 〈ナイフ〉
 (クラス7) (クラス8)

→ **jisu** / **majisu** 〈大型ナイフ〉
 (クラス5) (クラス6)

→ **msu** / **misu** 〈超大型ナイフ〉
 (クラス3) (クラス4)

((例2)) **mtu** / **watu** 〈人〉
 (クラス1) (クラス2)

→ **jitu** / **majitu** 〈巨人〉
 (クラス5) (クラス6)

→ **mjitu** / **mijitu** 〈異様な人〉
 (クラス3) (クラス4)

例2の名詞クラス3/4で、‘mjitu’、‘mijitu’の間に‘-ji-’が入っているのは、他の語と同じ語形にならないよう、区別するためです。

◆ 指小詞(名詞クラス 7/8)

名詞クラス 7/8 のシルシは、「小さい」や、「かわいい」といった指小詞の意味を表わすこともあります。また、後の課で学ぶクラス 11 のシルシ(→第 8 課)も、「細長い」といった意味を表わしたりします。

((例 1)) **mtu** / **watu** 〈人〉
 (クラス 1) (クラス 2)

→ **kitu** / **vijitu** 〈小人〉
 (クラス 7) (クラス 8)

((例 2)) **mti** / **miti** 〈木〉
 (クラス 3) (クラス 4)

→ **kijiti** / **vijiti** 〈小木〉
 (クラス 7) (クラス 8)

→ **ujiti** 〈細木〉
 (クラス 11)

例 1, 例 2 の名詞クラス 7/8 と 11 で、それぞれ語の間に‘-ji-’が入っているのは、指大詞の例と同様に、他の語と同じ語形にならないよう、区別するためです。

◆ ‘ki-’ (～風に・～流に)

シルシ‘ki-’で、「～風に」、「～流に」という副詞を作ることができます。

((例 1))

kisasa 〈現代風に, 現代流に〉 < **sasa** 〈今, 現在〉
kizamani 〈古風に, 古流に〉 < **zamani** 〈昔, 過去〉
Kiswahili 〈スワヒリ風に, スワヒリ流に〉
Kijapani 〈日本風に, 日本流に〉
Kiingereza 〈イギリス風に, イギリス流に〉
Kichina 〈中国風に, 中国流に〉

また、これらの内、‘lugha ya ki~’ (～風, ~流の言葉) という意味から独立した言語名が、クラス 7 の名詞として使われます。

((例 2)) **Kiswahili** 〈スワヒリ語〉
 Kijapani 〈日本語〉
 Kiingereza 〈英語〉
 Kichina 〈中国語〉

... ❀